

# 中 守 破 離



令和6年7月19日（金）第11号

第1学期終業式 学校長式辞

## 「感想戦」は敗者のためにある～

藤井 聡太 竜王・名人の言葉～

令和6年7月19日  
校長 柿林 浩彦

将棋の世界には、現在、8つのタイトル（竜王・名人・王位・王座・棋王・王将・棋聖・叡王）があります。そのすべてを、藤井 聡太 棋士は昨年11月に独占し、八冠になったことは聞いたことがあるでしょう。また、先月「叡王」のタイトルを奪われて七冠になったことも大きなニュースになりました。

七冠にはなりましたが、デビュー29連勝という新記録を打ち立て、17歳11カ月で初タイトルを獲得し、前人未到の八冠制覇の偉業を成し遂げている素晴らしい竜王・名人です。

さて、藤井 聡太 竜王・名人は、好きな言葉を問われた際、「感想戦は敗者のためにある」と答えたそうです。

「感想戦」とは、対局終了後に開始から終局までを再現しながら、対局中の手の善悪や様々な局面での最善手などを検討する時間です。

将棋では「負けました」という宣言の後に「感想戦」を行います。直前まで力を振り絞って戦ってきた内容を思い出しながら、相手とともに最善手を検討していくことで沢山のことを得られるのだそうです。

対局直後の「感想戦」ですから、勝敗の余韻はまだ残っています。

敗者は悔しさを押し殺し、勝者は嬉しい気持ちを胸にしまって敗者の気持ちを察しながら行われます。

実際には打たれなかった手や敗因となった手、より良い手などを、勝者も敗者も関係なく、一緒に考えを共有する共同作業です。勝者は次も同じ手で勝とうと思い、自分の手の内を相手に明かさないと考えるかもしれませんが、そんなことはありません。



竜王（りゅうおう）  
名人（めいじん）  
王位（おうい）  
叡王（えいおう）  
王座（おうざ）  
棋王（きおう）  
王将（おうしょう）  
棋聖（きせい）

将棋の世界では「勝ち」という目標に向かって、両者が指し手を模索し合いますが、その中に両者しか分からない言葉のないコミュニケーションがあるそうです。

そして、相手に勝つのではなく、「自分の心に克つ」という境地に至るのです。



だからこそ、対局直後の二人は「感想戦」の中で、相手とともに道を究めようとします。対局では持ち時間が定められていますが、「感想戦」には時間制限がないそうです。敗者が納得するまで「感想戦」は続けられ、敗者が「ありがとうございました」と言って終了します。勝者の側から「もういいでしょう」と言うようなことは決してありません。納得のいくまで行われる「感想戦」からは、互いに道を究めようとする姿勢が見られます。

藤井 聡太 竜王・名人は、「感想戦は敗者のためにある」という言葉に続いて次のように述べています。

「負けたり失敗したりした時、人はしばしば、ただ落ち込む。あるいは、ごまかす、言い訳を考える、忘れようとする。客観的に自分を見つめ直すのはなかなか難しいが、その機会を与えてくれるのが感想戦といえるだろう。」

藤井 聡太 竜王・名人も、敗戦の経験を幾度か重ねながらも「感想戦」によって一局一局をじっくり振り返ることで次につなげていることが分かります。

「感想戦」は言い換えれば「振り返り」です。生徒の皆さんは学校生活や家庭生活の様々な場面において、自らの言動を振り返り、考えたことを次につなげることで成長します。具体的には、授業や家庭学習を含めた「学習面」、部活動やまわりの人との人間関係を含めた「学校での生活面」、そして、家庭での過ごし方を含めた「家庭での生活面」について、「振り返り」をしてみてください。



特に学習面については、仲間との「感想戦」が有効です。だから、授業の中では、「学び合い」を行っているのです。

明日から夏休みになりますので、夏休み中は様々なことに挑戦しては「感想戦」を行ってください。藤井 聡太 竜王・名人は、中学2年のときに史上最年少となる14歳2か月でプロ入りしました。やればできるのです。充実した夏休みしましょう。

## 保護者の皆様

呉市立小・中・高等学校・義務教育学校は、夏季休業中に「学校一斉閉庁日」を次のように設けますので、よろしくお願いいたします。なお、学校閉庁期間中に連絡が必要な場合は、呉市教育委員会学校教育課が対応します。(呉市教育委員会 電話 0823-25-3454)

(1) 期 間 令和6年8月13日(火)～15日(木)

(2) その他 学校閉庁期間中は、原則、学校施設の利用もできません。

